

掲示板のことば

無明とは

何も分からないこと

ではない

すべて分かったつもり

になっている心の

ことです

2017.02

仏教の教えに、苦の因縁を明かす十二縁起があります。その苦の根本が「無明」とであると説かれます。それは、真理に暗く、迷う、つまり「闇」だと言われます。

真理に暗く、迷っているのだと言われると、何もわからずに、何も見えずに、暗闇の中をさまよっているかのように思います。

しかし、真理に暗いというのは、本当のことが分からないのではなく、自分の思い込みで、本当でないものを本当だとしてしまっているために、真実が見えないのです。つまり、すべて分かったことにしてしまっているのです。

自分は何でも知っている、間違っていないと思い込むことは、他の意見を聞き入れず閉じこもってしまっていることになるのです。

そのような状況を、「闇」と言うのでしょうか。

何でも知っていると思い込んでいる私たち人間が創り出す世界は、もしかしたら「闇」を創り出してしまおうのではないのでしょうか。

分からないということを知ることが大事なのですね。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹